

ISSN 1349-4163

Journal of Higher Education Vol.22, 2025

# 大学教育

第 22 号

2025

山口大学 教育・学生支援機構

## 巻頭言

教育・学生支援機構長  
葛 崎偉(特命理事・副学長)

『大学教育』(Journal of Higher Education) 第 22 号を発行するにあたり、まずは長年にわたりご支援いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。今号より、本誌は「論文」区分の投稿に対し、新たに査読制度を導入し、より高い品質の学術誌として生まれ変わりました。この重要な転換点を迎え、学術コミュニティの一員として、さらなる発展を目指してまいります。

これまでは主に機構内の教員による投稿を中心に、査読なしで発行を行ってきました。しかし、今号からは査読制度を導入し、関係する専門家による厳正な審査を経て、より高い学術的品質を保つことを目指します。査読制度は研究成果の信頼性を確保するために不可欠であり、今後は多くの研究者にとって信頼される学術誌として、成長を続けていくことを願っています。

今後、本誌は本機構のみならず、学内外の研究者からの投稿も歓迎します。大学教育に関わる分野からの新しい視点や斬新なアイデアを取り入れることで、学術誌としての深みと広がりを増していきたいと考えています。投稿者一人ひとりの研究が学問の発展に寄与できるような環境を提供し、さらなる発展を促進する場として本誌を位置付けていきます。本誌の新たな方向性として、学内外の研究者とのネットワークを広げ、情報共有や意見交換の場を提供したいと考えています。これにより、学術の世界における協力と理解が深まり、より豊かな研究環境が築かれることを期待しています。

本号が皆様にとって有益なものとなり、今後の研究活動において重要な参考資料となることを願っています。また、今後も多くの研究者の方々にご投稿いただき、共に学術誌を成長させていければ幸いです。最後に、本誌の査読制度を導入するにあたり、編集委員会の先生方のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 大 学 教 育

第 22 号

## 目 次

### 論 文

1. 社会人基礎力の測定方法に関する一提案と大学入学時の社会人基礎力の修得状況  
—人文学部，経済学部，医学部保健学科の新入生によるデータを基に—  
辻 多聞 1
2. 入学前教育の導入を規定する要因と導入時期にみる目的  
林 寛子 當山 明華 陣内 未来  
山本 以和子 花堂 奈緒子 15

### 報 告

3. 日本人ホスト向け中国人との交流に向けた文化アシミレーター作成に向けて  
—課題の試作と評価—  
中野 祥子 田中 共子 28
4. 山口大学入試広報への繰返し参加が出願に与える影響  
—説明会の複数年参加による志願者の状況—  
竹本 真理恵 林 寛子 37
5. 留学生への就職支援から見たビジネス日本語授業  
永井 涼子 47
6. 「地の利を活かした DX」の取り組み  
湯浅 修一 54
7. 地球環境に関する意識調査  
藤原 勇 61
8. 障害学生修学支援ニーズと修学スケジュールの関連性  
—山口大学の事例から—  
岡田 菜穂子 櫻井 凜 柳下 雅子  
松尾 理佳 田中 美穂 田中 亜矢巳 65
9. 健康診断サポート・データ管理システムの運用を開始して  
森福 織江 梅本 智子 中原 敦子  
小林 久美 藤勝 綾香 樋口 尚子  
福江 宣子 永尾 優子 山本 直樹 71
10. 令和6年度化学物質推進室の活動報告  
近藤 圭 鬼村 謙二郎 藤原 勇  
森本 宏志 船本 大起 米本 智美 80

1 1. 環境スローガンのテキストマイニング分析

藤原 勇 鳥越 薫

85

**投稿規程**

89

## 2024年度『大学教育』投稿規程

1. 本誌は、大学教育改善の立場から、高等教育に対し実践的あるいは理論的アプローチをすることを目的とした山口大学教育・学生支援機構（以下「機構」という。）のジャーナルであり、電子ジャーナルとして刊行・公開する。
2. 本誌は、主として機構を構成するセンター等における教育・学生支援に関連する「論文」、「報告」（資料、実践報告、業務報告）で構成する。「論文」は8頁以上20頁以内、「報告」は10頁以内とする。

「論文」：査読有  
大学教育に係る実証性、論理性、独創性のある学術的に有意義な考察と、明確な結果を備えたもの。

「報告」：査読無  
「資料」「実践報告」「業務報告」を指す。掲載時に、「資料」「実践報告」「業務報告」の別は記載せず、「報告」として掲載する。

「資料」：論文には至らないが、今後の展開が期待されるもの。または、既存の知見を補強する事例やデータが提示され、まとめられたもの。

「実践報告」：実践で試みた事柄の方法とその結果を整理し、読者と共有することを目的に報告したもの。実践の結果をまとめたものであり、普遍性を追求する形にはならないもの。

「業務報告」：日々の業務の記録。
3. 原稿の執筆にあたっては、倫理的な要請を満たしているか著者全員で十分に確認を行うこと。
  - ・研究参加者による研究協力への同意
  - ・研究参加者に対するプライバシーの保護（匿名性の保証）
  - ・捏造、改ざん、盗用、著作権の侵害などの無いこと
  - ・未発表のものであること
  - ・二重投稿の無いこと
  - ・不適切、差別的な用語や表現の無いこと      など
4. 使用言語は日本語もしくは英語とする。母語以外の言語で執筆した場合、ネイティブ・スピーカー等の校閲を受けること。
5. 投稿者は、本学の教職員（退職者・非常勤を含む）（以下「本学の教職員」という。）及び大学教育編集委員会（以下「委員会」という。）が認めた者とする。
6. 本学の教職員以外の者が主たる執筆者の場合、本学の教職員が責任執筆者として責任をもつことによって本学の教職員以外の者が筆頭執筆者となることができる。責任執筆者には原稿の名前の右上に\*（アスタリスク）をつけること。

7. 同一執筆者（共著の筆頭執筆者を含む）により投稿される原稿（「論文」「報告」）は、各号につき 2 編までとする。共著で筆頭執筆者以外については、制限は定めない。
8. 編集委員会は、「論文」については審査、「報告」については確認を行い、採否及び区分や掲載の順序を決定する。「論文」については、各原稿に原則として 2 名のレフェリーを選定し、レフェリーの査読結果を参考にして、審査を行う。レフェリーには著者名を伏して査読を依頼する。
9. 査読の結果について、投稿者からの異議申立ては認めない。
10. 投稿原稿の執筆に当たっては、別に定める『大学教育』スタイルガイドに従うこととする。従っていない原稿に関しては受理しないことがある。また図表の挿入に関しては、段組み設定を変更するなどして見やすく編集すること。
11. 原稿の提出期間は「論文」は令和 6 年 10 月 1 日～11 月 1 日、「報告」は令和 7 年 1 月 4 日～1 月 31 日とする。
12. 投稿原稿は、学生支援部教育支援課総務係に電子ファイル（Word と PDF）で提出し、投稿票を用いて邦文タイトルの他、英文タイトル等を提出する。論文として掲載を希望する場合は、提出する原稿は所属、著者名などの記載部分を空白にし、さらに、著者の特定につながる引用文献、参考文献の著者名を＊に変更した上で提出すること。
13. 原稿の校正は、著者の責任において行う。
14. 掲載された論文等の著作権は著者に帰属するものとする。ただし、委員会は、掲載された論文等を、機構もしくは機構が委託する機関において、電子化公開する権利を有するものとする。
15. 上記以外の事項は、必要に応じて、著者と相談の上、委員会が適宜処理する。

# Journal of Higher Education

Vol.22, 2025

## **Fundamental Competencies for Working Adults: Proposing a Measurement Method and Evaluating the Competencies of New University Students**

~A Case Study Using Data from the Faculty of Humanities, Faculty of Economics, and School of Health Sciences~

TSUJI,Tamon

[page.1-14]

## **Factors Determining the Introduction of Pre-Enrollment Education and Purposes in the Segmentation of Introduction Periods**

HAYASHI,Hiroko;TOYAMA,Sayaka;JINNOUCHI,Mirai;YAMAMOTO,Iwako;HANADO,N  
aoko :

[page.15-27]

## **Developing a Cultural Assimilator for Japanese Hosts to Interact with Chinese People**

NAKANO,Sachiko;TANAKA ,Tomoko

[page.28-36]

## **The Impact of Repeated Participation in Yamaguchi University Information Sessions on Applications**

TAKEMOTO,Marie;HAYASHI,Hiroko

[page.37-46]

## **Business Japanese Language Courses from the Perspective of Job Placement Support for International Students**

NAGAI,Ryoko

[page.47-53]

## **DX Initiatives that Leverage the Local Area**

YUASA Shuichi

[page.54-60]

## **A Survey on Awareness of the Global Environment**

FUJIWARA,Isamu

[page.61-64]

## **Relationships between the Learning Support Needs of Students With Disabilities and the Academic Calendar -The Case of Yamaguchi University-**

OKADA,Nahoko;SAKURAI,Rin;YANAGISHITA,Masako;MATSUO,Rika;TANAKA,Miho;  
TANAKA,Ayako :

[page.65-70]

**Examining the Implementation of the New Health Checkup Support and  
DataManagement System**

MORIFUKU, Orie; UMEMOTO, Tomoko; NAKAHARA, Atsuko; KOBAYASHI, Kumi; FUJIKA  
TSU, Ayaka; HIGUCHI, Naoko; FUKUE, Noriko; NAGAO, Yuuko; YAMAMOTO, Naoki

[page.71-79]

**Chemical Substances Safety Promotion Office Activity Report (2024)**

KONDO, Kei; ONIMURA, Kenjiro; FUJIWARA, Isamu; MORIMOTO, Hiroshi; FUNAMOTO,  
Daiki; KOMEMOTO, Tomomi

[page.80-84]

**Text Mining Analysis of Environmental Slogans**

FUJIWARA, Isamu; TORIGOE Kaoru

[page.85-93]

# 「大学教育」編集委員会

委員長 林 寛 子 (アドミッションセンター 准教授)

委員 藤 本 正 己 (教学マネジメント室 講師)

〃 Kira Adams (教育支援センター 助教)

〃 岡 田 菜穂子 (学生支援センター 准教授)

〃 平 尾 元 彦 (キャリアセンター 教授)

〃 樋 口 尚 子 (健康科学センター 助教)

〃 中 野 祥 子 (留学生センター 講師)

表紙題字 国立大学法人山口大学 元学長 丸 本 卓 哉

## 大学教育 第22号 ISSN 1349-4163

---

2025年3月発行

編 集 : 『大学教育』編集委員会

発 行 : 山口大学教育・学生支援機構

お問い合わせ : 学生支援部教育支援課総務係

住 所 : 〒753-8511 山口市吉田 1677-1

電 話 : 083-933-5062

F A X : 083-933-5225

E - m a i l : ga104@yamaguchi-u.ac.jp

U R L : <http://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~dkikou/index.html>

---